



## 東北地方の課題解決を通じたSDGsの実現へ。 売上高1,200億円を達成。第4期は382店舗へ 拡大予定。更なる成長を目指します。

代表取締役社長 西郷辰弘



株主の皆様には、平素より当社経営へのご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、当社第3期(2021年3月1日から2022年2月28日まで)の事業の概況等についてご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

第3期におきましては、前年の新型コロナウイルス感染症拡大(コロナ禍)の特需の反動からいち早く回復し、また過去最大となる39店舗の出店により総店舗数は358店舗となり、売上高が前期を上回る1,200億円を達成しました。一方で電気代高騰等により販売管理費が上昇し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は前期を下回りました。

施策面では、引き続きローコストオペレーションとESLP( Everyday Same Low Price)を推進するとともに、「店頭での健康チェックとそのデータ活用」の実装に向け、1ヶ月で4,000人以上のお客様へ実施できる体制も整いました。また異業種とのコラボレーションによる商品の共同開発を行い、「社会課題を事業機会へ」というミッションを掲げる薬王堂だからこそできるSDGsに挑戦し、今後も他社との差別化戦略を推し進めてまいります。

第4期の売上高見通しは1,257億円\*と増収増益を目指しています。また25店舗の新規出店を計画しており、東北地域でのドミナント戦略をより推進していく方針です。

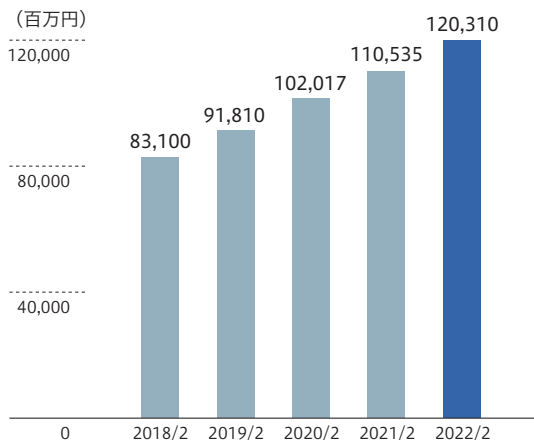
コロナ禍は未だ終息が見えておらず先行きが不透明な状況が続きますが、このような中でこそ当社の使命である「地域の皆様の美と健康と豊かな暮らしに貢献する」ことを全うし、お客様と従業員の安全も考慮しながら営業を継続する努力をしております。

私たちが店舗展開している東北地方は、「人口減少」や「少子高齢化」など大きな課題に直面している、世界でも稀に見る「課題先進地域」であり、地域のお客様の健康へのニーズは急速に高まっています。東北の健康における課題を解決することが未来の日本と世界に役立つと信じて、私たちは今後もチャレンジしていくつもりです。

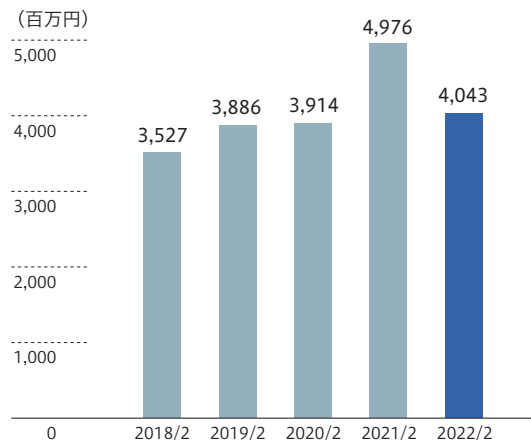
今後もより一層の成長と継続的な企業価値の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

※2023年2月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用するため、当該基準に基づいた予想となっております。

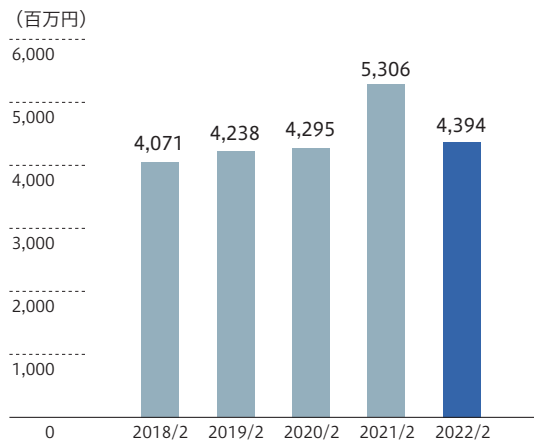
## 売上高



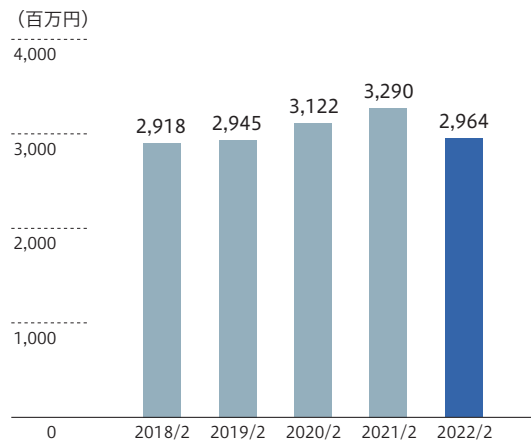
## 営業利益



## 経常利益



## 当期純利益／親会社株主に帰属する当期純利益



● 2018年2月期以前は株式会社薬王堂単体の数値、2019年2月期以降は連結決算の数値を記載しております。

● 当社は、2019年9月2日に単独株式移転により株式会社薬王堂の完全親会社として設立され、2020年2月期連結会計年度(2019年3月1日から2020年2月29日まで)の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社薬王堂の連結財務諸表を引き継いで作成しております。

## 薬王堂のドミナント戦略

ドラッグストアの商圈人口は10,000人以上と言われる中、より身近でより多くの店舗を展開できる小商圈(人口7,000人)での出店戦略(ドミナント戦略)をとっています。今後も同戦略を進めながら地域でのシェアの拡大を図っていきます。

新規出店

**39** 店舗

※退店2店舗

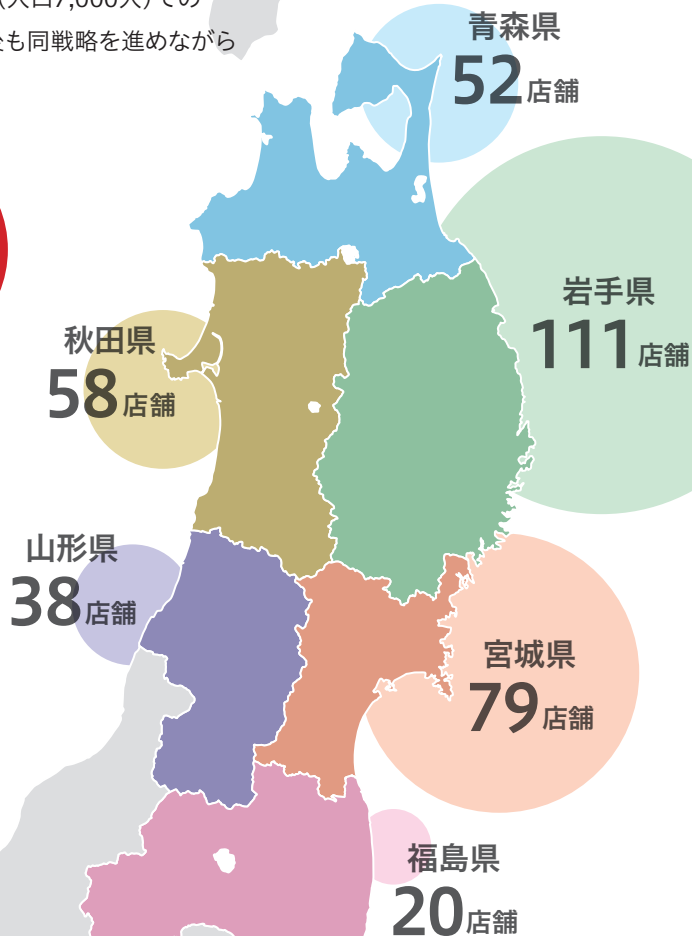
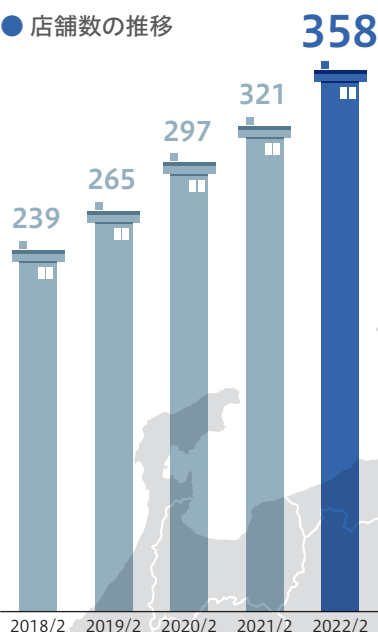
店舗数

**358** 店舗

2022年2月末

うち調剤併設型4店舗、  
調剤専門薬局2店舗

● 店舗数の推移



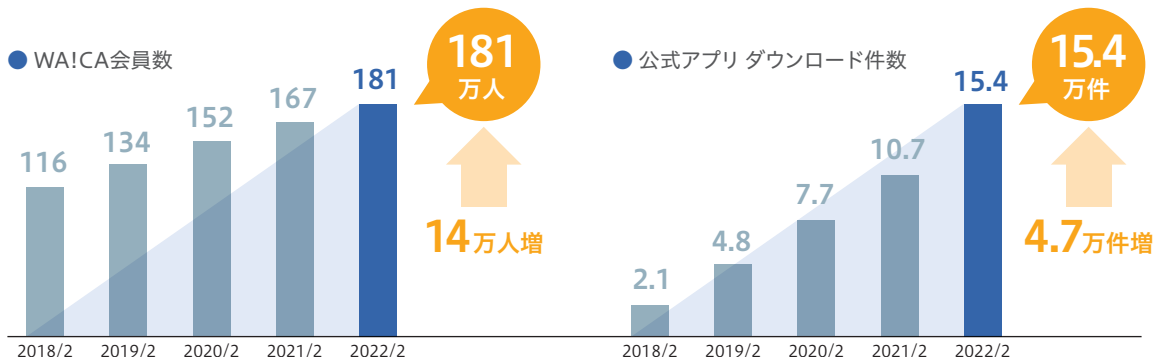
## 1. 「WA!CA」カードと公式アプリ



ポイントカード「WA!CA」の会員数の拡大に取り組み、累計のカード会員数は前期末より14万人会員数を伸ばし、181万人になりました。

プリペイド式の電子マネー機能付きという利便性に加え、買い物金額に応じて、シルバー、ゴールド会員にランクアップするステージ制を採用、お買い物時に3ポイントのボーナスがつく(1日1回限り)60歳以上限定の「おでかけカード」が好評で、さらに薬王堂公式アプリからプラカード無しで「WA!CA」の新規発行ができるサービスも開始し会員数を伸ばしました。

また公式アプリのダウンロード数の拡大にも取り組み、累計のダウンロード件数は15万4千件となりました。店舗やチラシ検索が可能で、さらにお得なクーポンが配信されるという機能に加えて、公式アプリでのWA!CA電子マネー決済が好評でダウンロード数を伸ばしました。また、アプリの全面リニューアルを実施しており、歩数計や肌診断機能を追加しその後の行動変容を促す仕組みを実装しました。



## 2. くらしまるごと ALL WAY BASIC

● <https://allwaybasic.jp/>

東北に住む皆様のくらしをやさしく、こちよく、支えるために生まれた薬王堂のプライベートブランド「ALL WAY BASIC (AWB)」。第3期は54アイテムを開発・発売しました。ラベルレスの天然水のように、環境問題を意識した開発に挑戦しています。

ALL  
WAY  
BASIC



食品部門では、日本ハム株式会社と徳用上級ウィンナーや特級ウィンナー2アイテム、フジパン株式会社との徳用クロワッサンなど大手メーカー様と共同開発商品を発売しました。今の時代にはなくてはならないマスクやハンドソープは、「大容量品」の開発をしました。マスクは、「ふつう・小さめ・こどもサイズ」の家族に合わせた3サイズを1箱65枚入りで展開しています。薬用ハンドソープ詰替は、泡タイプでフローラル・シトラスの香りと液体タイプでフローラルの香りを開発し、毎日たくさん使っても安心の大容量600mlで幅広い層のお客様から喜ばれている商品です。

### 3. 「and OHU (アンオフ)」共同開発・発売

未利用資源を再生・循環させる社会を構築する研究開発型スタートアップの株式会社ファーマンステーションと「and OHU (アンオフ)」スキンケアシリーズ全6品を共同開発し、薬王堂全店とECサイトにて販売を開始しました。

「and OHU (アンオフ)」は東北の自然素材や副産物などの未利用資源をアップサイクル※した、素肌と環境にやさしいスキンケアです。

※アップサイクル：リユース(再利用)・リサイクル(再循環)と異なり、廃棄物や副産物など、従来、不要と考えられたり有効活用されていないものを、様々なアイデアや手法でさらに価値の高いプロダクトに転換すること。



左から、クレンジングオイル、フェイスウォッシュ、モイスチャーローション、モイスチャーミルク、オールインワンジェル、リップ

### 4. 「ヤクオウドー×ヘラルボニー」コラボ商品を発売



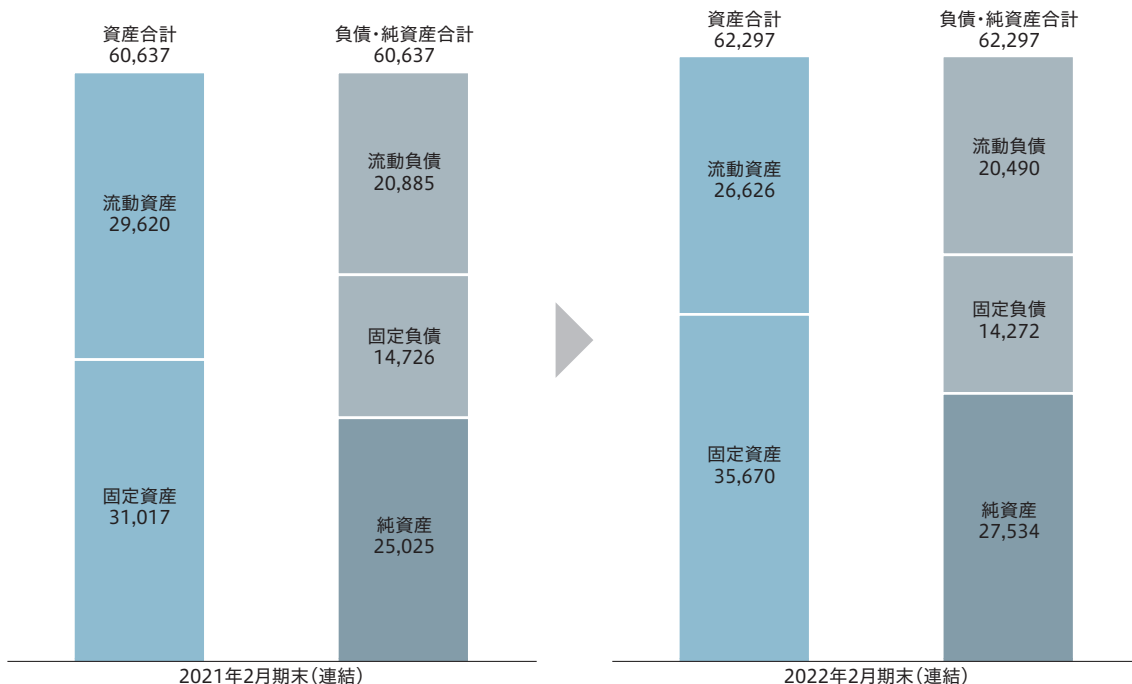
ヤクオウドー  
×  
ヘラルボニー



「異彩を、放て。」をミッションに掲げるヘラルボニーとの初のコラボレーション商品として、エコバッグ、トートバッグ、Tシャツ、スウェット、フリースを薬王堂全店とECサイトにて販売開始しました。

ヘラルボニーの、アートというフィルターを通じた障害のある人との出会いをすることで、「障害は欠落ではない」という思想に共感しコラボレーションが実現しました。「福祉×アート」という新たな領域からのアプローチによって、地域社会の課題解決に挑戦しています。

## ● 財政状態の概要 (百万円)



## ● 財政状態のポイント

**流動資産**

流動資産は266億2千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ29億9千3百万円減少しました。主な減少要因は、現金及び預金の減少があげられます。

**固定資産**

固定資産は356億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ46億5千3百万円増加しました。主な増加要因は、新規出店に伴う建物等の有形固定資産の増加があげられます。

**流動負債**

流動負債は204億9千万円となり、前連結会計年度末に比べ3億9千5百万円減少しました。主な減少要因は、未払法人税等の減少が5億2千4百万円あったことがあげられます。

**固定負債**

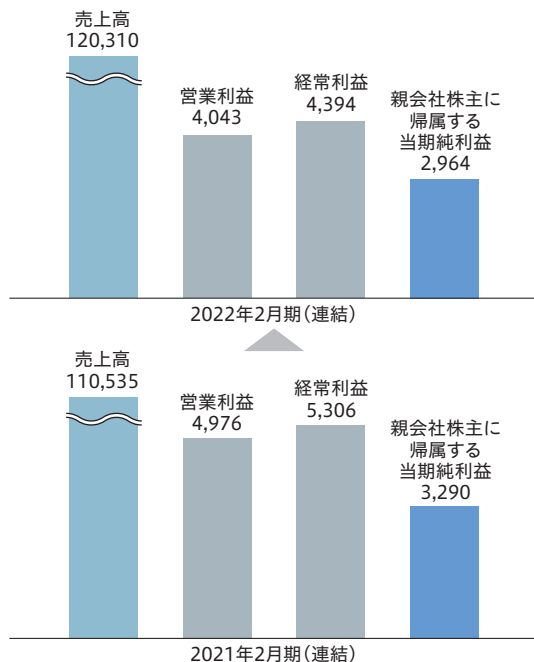
固定負債は142億7千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億5千4百万円減少しました。主な減少要因は、長期借入金が12億6千7百万円減少したことがあげられます。

**純資産**

純資産合計は、275億3千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億9百万円の増加となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加25億1千万円があげられます。



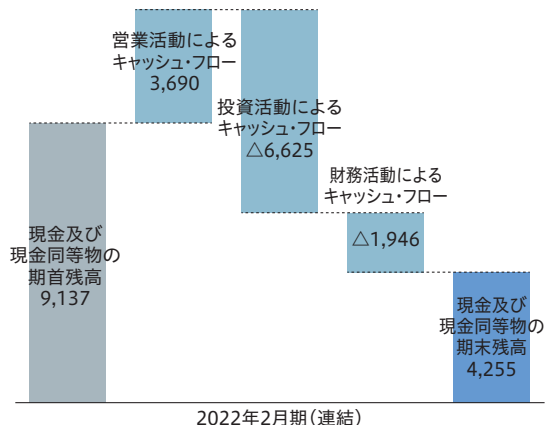
## ● 経営成績の概要 (百万円)



## ● 経営成績のポイント

販売価格や品揃えの強化を図り、来店客数及び買上点数の増加に取り組むとともに、小商圏ドミナント出店を推進し、合計39店舗を新規出店し、2店舗を退店いたしました。以上の結果、売上高は1,203億1千万円、営業利益は40億4千3百万円、経常利益は43億9千4百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は29億6千4百万円となりました。

## ● キャッシュ・フローの概要 (百万円)



## ● キャッシュ・フローのポイント

### 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は36億9千万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が40億4千2百万円、減価償却費が25億9千1百万円あったものの、たな卸資産が13億9千6百万円増加したこと等によるものです。

### 投資活動によるキャッシュ・フロー

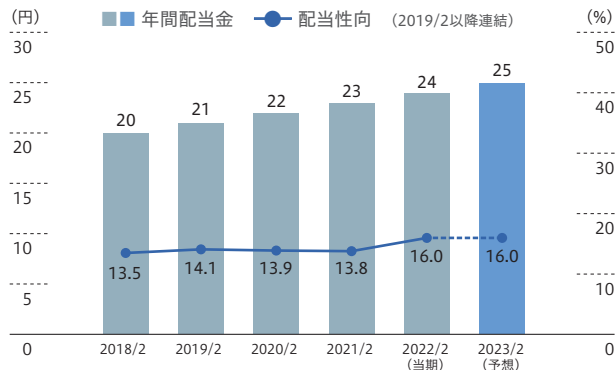
投資活動の結果使用した資金は66億2千5百万円となりました。これは主に、新規出店に伴う有形固定資産の取得による支出が60億1千7百万円あったこと等によるものです。

### 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は19億4千6百万円となりました。これは、長期借入れによる収入が20億円あったものの、長期借入金の返済による支出が33億8千6百万円あったことや配当金の支払額が4億5千4百万円あったこと等によるものです。

## 配当実績と予想

当期の配当金は、前期から1円の増配となる1株当たり24円とさせていただきます。また、今期(2023年2月期)の配当金につきましては、1株当たり年間25円を予定しております。



## 株主優待制度

対象の株主様に対して、保有する株式数に応じて以下のとおり、薬王堂で利用できる当グループプリペイドカード「WA!CA」の電子マネーもしくは東北地方の特産品(お米)のいずれかを贈呈いたします。

### 薬王堂で利用できるプリペイドカード「WA!CA」

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	2,000円分
1,000株以上 3,000株未満	3,000円分
3,000株以上	5,000円分



初めて「WA!CA」をお持ちになる株主様  
予め相当分の電子マネー額をチャージした「WA!CA」を送付

既に「WA!CA」をお持ちいただいている株主様  
ご指定の「WA!CA」に相当分の電子マネー額をチャージ

### 東北地方の特産品(お米)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	3kg
1,000株以上 3,000株未満	5kg
3,000株以上	10kg

下記の銘柄よりいずれか1つをお選びいただけます。



岩手県産「銀河のしずく」 宮城県産「ひとめぼれ」 青森県産「つがるロマン」 秋田県産「あきたこまち」 山形県産「つや姫」 福島県産「こしひかり」

※お米のパッケージは写真と異なる場合がございます。  
※東北地方の特産品の内容については、次回以降変更する場合がございます。

**株主優待の対象** 2022年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有されている株主様を対象に実施  
**贈呈時期及び方法** チャージ済み「WA!CA」は8月上旬、お米は11月中旬の発送を予定  
お手持ちの「WA!CA」へのチャージは7/21(木)を予定

## ● 会社概要 (2022年2月28日現在)

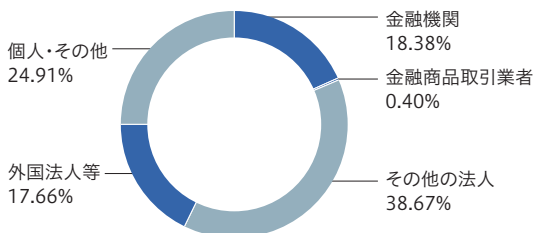
社名	株式会社薬王堂ホールディングス
所在地	岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号
代表者	代表取締役社長 西郷辰弘
設立	2019年9月2日
資本金	100百万円
売上高	120,310百万円
店舗数	358店舗
従業員	社員929名、臨時社員2,428名(8時間換算)
事業内容	ドラッグストアチェーンの経営ならびに調剤薬局経営

## ● 役員 (2022年5月27日現在)

代表取締役社長	西郷 辰弘
代表取締役副社長	西郷 喜代子
常務取締役 経営戦略部長	小笠原 康浩
常務取締役	西郷 孝一
社外取締役	小原 公一
社外取締役	片野 圭二
社外取締役	栗岡 大介
常勤監査役	坂本 篤
社外監査役	下河原 勝
社外監査役	鎌田 英樹

## ● 株式情報 (2022年2月28日現在)

発行可能株式総数	61,200,000株
発行済株式の総数	19,740,219株 (自己株式数23株)
株主数	10,208名



## ● 大株主 (2022年2月28日現在)

株主名	持株数(株)	所有比率(%)
株式会社TKコーポレーション	7,584,000	38.42
株式会社日本カストディ銀行 (信託口、信託口4、信託口9、信託A口、 証券投資信託口、年金特金口、年金信託口)	1,339,200	6.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,234,700	6.25
NORTHERN TRUST Co.(AVFC) RE FIDELITY FUNDS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	878,400	4.45
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	800,000	4.05
薬王堂ホールディングス従業員持株会	652,900	3.31
西郷 喜代子	398,000	2.02
BBH FOR GRANDEUR PEAK GLOBAL OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	305,700	1.55
BBH FOR GRANDEUR PEAK INTERNATIONAL OPPORTUNITIES FUND (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	250,200	1.27
日本生命保険相互会社	241,900	1.23

## ● 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から毎年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
利益配当金	毎年2月末日
受領株主確定日	その他必要がある場合は予め公告し 基準日を定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 (郵送先)〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 電話:0120-232-711(通話料無料)
公告の方法	電子公告の方法により行います。 但し、やむを得ない事由により電子公告ができないときは、日本経済新聞に掲載します。

### 【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ 信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ 信託銀行本支店でお支払いいたします。



株式会社薬王堂ホールディングス

<https://www.yakuodo-hd.co.jp>

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号

電話:019-621-5027

